

業（群馬県高崎市）の滝沢啓社長が、障害者が働く屋内型野菜工場の運営に力を入れている。同社は4年前に事業の多角化の一環で野菜栽培設備を開発した。民間に導入を進めるなか、屋内型の野菜栽培は障害者にやりがいを与えると考え、自ら運営を始めた。最近ではパソコン実習など日常生活に不可欠な技能の教育も始めている。

滝沢氏は2013年12月に運営主体となるNPO法人「ソーシャルハウス」を設立し、15年6月に野菜工場で生産を始めた。自社工場近くの旧電子部品工場を

建設現場の囲いなどに使う打ち込みくいを製造する君岡鉄工（奈良市）は2017年3月までに、宇都宮市に登記上の本社を移す。今年8月には9億円を投じた宇都宮市内の新工場を本格稼働させる。工事が多く資材の需要が多い南関東と東北に近く、既存顧客への対応力を高めるほか、新規の需要を掘り起こす。5年後をメドに、2倍の

売り上げを目指す。
本社は新工場の敷地
に設ける。従業員20人
うち、企画と技術を担

する2人の異動が決まり、関連の機能も移転する。事務職を1人、製造担当を4～6人雇

の年67万本から約200万本に高める。

ひたちた
熊本県などで相次ぐ
震で被害を受けた熊本

ほか海浜鉄道など三セク4社
県地の第三セクター、南阿蘇城県のひたちなか海浜鉄道を支援しようと、茨道など4県の三セク鉄道

てゐる。
4. 東はひたちなか海滨

めぶきFGを「歓迎」

茨城・栃木知事
商談会など期待

茨城県の橋本昌知事と
栃木県の福田富一知事は
26日、常陽銀行と足利銀
行を傘下に持つ足利ホー

ルディングス(HD)の経営統合合意についてそれを歓迎する考えを示した。

両知事が26日に開いた記者会見で明らかにした。常陽銀と足利HDは25日、「めぶきフィナン

栎木とかなり範囲も広
なりマッチングの可能
も大きくなる」と期待
示した。「地域創生部

本社の東京移転にて橋本知事は「厳しく代を生き抜き地域社会向上させる目的

事は一地域密着の金融機関であることを取引先に示し、県民にとつても歓迎できる」と評価した。



滝沢社長はNPO法人を設立し、障害者が働く野菜工場の運営を始めた

成電工業社長がNPO

販売されているほか、ホテ
ルや焼肉店などにも卸して
いる。

障害者、野菜工場で就労

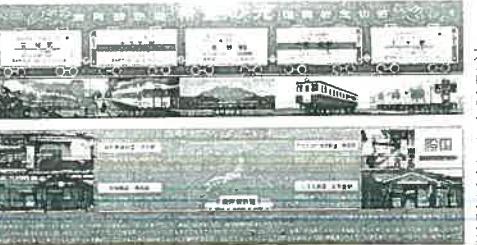
「やりがい」パソコン実習も

支援施設の担当者に導入される旅館の開拓も検討す
る。この理由を聞くうち「重労働でない上に、様々な作業がある室内の野菜栽培は障害者に仕事のやりがいを与える」を感じた。調べるところ、群馬県内に同様の施設はなく「自分で立ち上げよう」と思い立った。
最近、取り組み始めたのが障害者の生活支援だ。4月からは野菜栽培のほか、パソコンや調理実習などのプログラムを始めた。保護者の「子どもが自立できる」企業の経営者としては、「NPO法人だけで収益が成り立つようにしたい」という。工場は成電工業の資産でソーシャルハウスに貢献している。現在は赤字経営だが、「15人が働くようになれば黒字化が見えてくる」。20人を超えた段階で生産能力の増強を検討し、増産効果による経営の独り立ちをめざす。(前橋支局 島本雄太)

前橋市の「木下龍一」長井
26日の記者会見で、要望
があれば熊本県を中心に
相次ぐ地震の被災者を前
橋市の市営住宅で受け入
れる考え方を明らかにし
た。前橋市内在住者の親
族が九州で被災した場合
などを想定している。実
際に「熊本に親族がいる
市民から数件の問い合わせ
があった」という。
市によると、現在すぐ
入居可能な市営住宅は10
戸。罹災(りさい)証明

市営住宅提供も

急年、があ



の喜び 南年、受け足し、足を愛んで、本大けた海棠的でした。